

講習の名称：自然の生い立ち、土地の履歴と自然災害

担当講師：青山 雅史（教育学部准教授）

講習開講日：平成 29 年 8 月 23 日（水）

時間数：6 時間

主な受講対象者：中（社会）・高等学校（地理歴史）教諭

キーワード：地形、土地の履歴、自然災害、自然環境、地図

講習の概要：

今後の自然災害による被害軽減や持続可能な社会の構築など、「よりよい社会や自然環境」を形成・維持していくうえで、私たちが暮らしている地域の地形の生い立ちや土地利用の変遷などといった「土地の履歴」をよく知ることは重要です。本講習では、いくつかの地域の土地の履歴と自然災害による被害、自然環境の変遷との関係などを検討します。地形図を用いた読図作業や群馬大学荒牧キャンパス周辺での野外観察も行う予定です。

講習の展開：

第 1 時限 「土地の履歴」知ることはなぜ大事か？

第 2 時限 前橋の自然景観、土地利用とその変遷

第 3 時限 さまざまな地図（地理空間情報）の活用方法と地図を用いた作業

第 4 時限 群馬大学荒牧キャンパス周辺の地形と土地利用の野外観察

受講に当たっての要件（講習内容のレベル）：

地理学の中の自然地理学に関連した内容について取り上げていきます。

群馬大学荒牧キャンパス周辺の地形と土地利用に関して、地形図と色鉛筆 5 色程度を用いた作業、および 90 分程度の野外観察をおこなう予定です。講習時に色鉛筆をご持参ください。また、講習時にさまざまな地図を紹介・解説します。国土地理院が web 上で公開している「地理院地図」を事前に閲覧し、どのような地図（地理空間）情報が利用できるか、各自で確認しておくようにしてください。

授業の形式： 講義、地形図と色鉛筆を用いた簡単な実習、野外観察（フィールドワーク）

履修認定試験： 論述形式の筆記試験を課します（ノート・配布資料の持込可）。

テキスト・参考文献：

◎講義資料と講習時に利用する地形図はこちらで準備・配布します。

◎参考文献

鈴木 康弘 編 『防災・減災につながるハザードマップの活かし方』 岩波書店  
2015